

B2B市場調査入門

出張セミナーのご案内

企画主旨

マーケティングが目的とする顧客の維持・拡大や収益の増加は、まさに経営の根幹のテーマとすることができます。そして、マーケティング戦略を立案するためには、まずは外部環境を把握するための「市場調査」が重要となります。

しかし、市場調査という言葉からは、依然としてコンシューマ向けのアンケート調査などの印象が強いのではないのでしょうか。実際に多くのB2B企業では、市場調査自体を実施していないケースも散見されます。また、手探りで市場調査を行おうとしても、どうやって調査を行えばいいのか、よくわからないまま実施していたり、実施したものの思ったような結果が得られなかったりするケースも多いようです。

効果的なマーケティング戦略を立案するためには、実施する市場調査に対する様々な角度からの検討が必要です。適切な市場調査を設計することで、効率的に経営資源を活用し、低コストで高い成果をあげることが可能になります。

外部環境が不透明さを増すなか、市場調査に対する重要性はますます高まってきています。また、ICTを活用した新たな調査手段・手法が利用可能となり、市場調査が身近なものとなってきたものの、実際にはどのように調査を設計すればいいのか、お悩みの方も増えているようです。

当企画は、新たに市場調査に関心をお持ちの方、既に市場調査を実施してお悩みの方などを対象に、市場調査会社の矢野経済研究所がもつノウハウの一部をセミナー形式でご提供するものです。



主な内容

当社研究員が貴社にお伺いして、
以下のような内容の市場調査セミナーを実施します。

1. BtoB 分野の市場調査の特性
2. 市場調査の位置づけ
3. 様々な市場調査の種類
4. 調査方法と得られる情報の種類
5. 個人で可能な市場調査・情報収集方法の例
6. 市場調査会社の使い方・選び方
7. 各種調査のメリットとデメリット
8. 調査を実践する際の留意事項

※内容はサンプルです。貴社のご要望に応じて一部アレンジさせていただくことが可能です。

費用

1回 10万円～(税別)

まずは担当者にお問合せ下さい。

人数や場所、目的等をお伺いし、お見積りさせていただきます。



対象者の例

- マーケティング部門、経営企画部門のスタッフ向けに
- 新規事業開発部門向けに
- 管理職研修に
- 新入社員研修に
- 業界団体の勉強会として

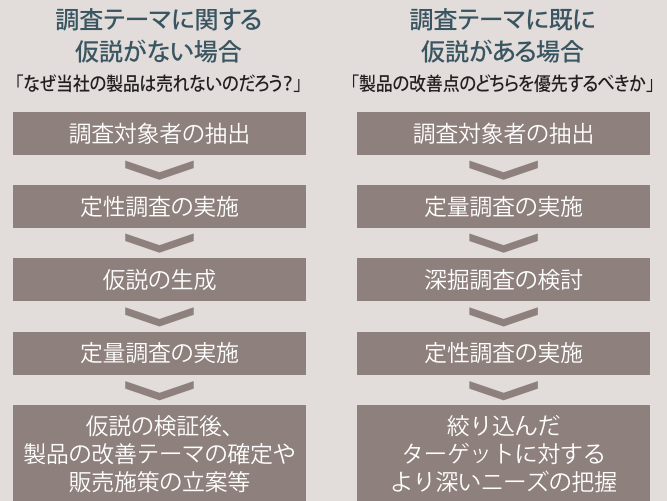


セミナー内容の一部

調査の方法 (どうやって調べるのか)

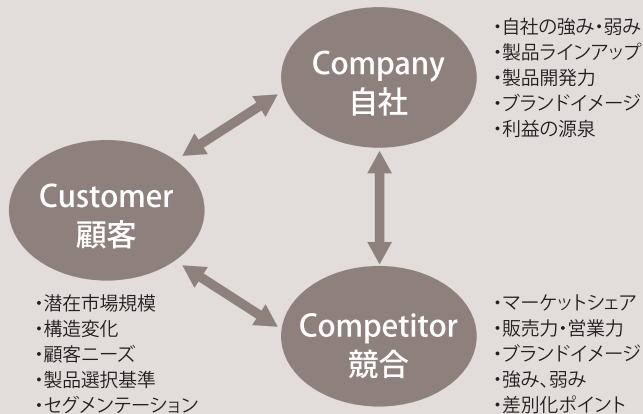


調査における定性情報と定量情報の関係

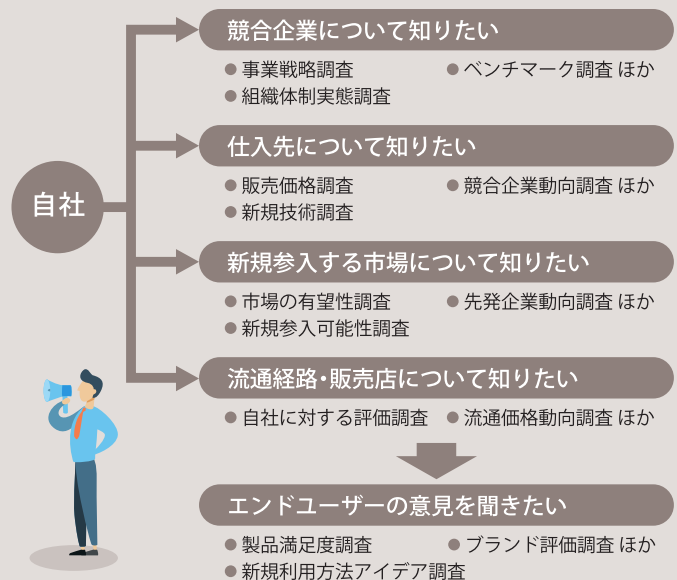


ミクロ環境分析

Customer (市場・顧客)・Competitor (競合)・Company (自社)の3つの言葉の頭文字であり、自社や事業部等がどのような経営環境に置かれているのかという状況を分析し、経営課題を発見、戦略代替案の発想などに活用するフレームワーク。



誰に何を調査するのか



【会社概要】

- 会社名：株式会社矢野経済研究所
- 設立：1958年 創業者矢野雅雄が株式会社矢野経営研究所を設立
1961年 株式会社矢野経済研究所と改称
- 資本金：1億円

- 代表：代表取締役社長 水越 孝
- 従業員数：191名(2018年3月現在)
- 加盟団体：日本マーケティング・リサーチ協会

<https://www.yano.co.jp/>

株式会社 矢野経済研究所

Yano Research Institute Ltd.

本社 〒164-8620 東京都中野区本町2-46-2 中野坂上セントラルビル (受付 6F/YDB 5F) TEL: 03-5371-6901 FAX: 03-5371-6970	大阪支社 〒541-0052 大阪府大阪市中央区 安土町1-8-6 大永ビル5F TEL: 06-6266-1382 FAX: 06-6266-1389	名古屋支社 〒460-0004 愛知県名古屋市中区 新栄町2-3 YWCAビル3F TEL: 052-962-2461 FAX: 052-962-1920	ソウル支社 〒110-755 ソウル特別市鍾路区 壽松洞146-1 Leemaビル1206 TEL: +82-2-735-2280 FAX: +82-2-735-2290	上海事務所 〒200041 上海市静安区 南京西路1038号 梅龍鎮広場1609A室 TEL: +86-21-6218-1805 FAX: +86-21-6218-6822
---	---	--	--	---

問い合わせ先

マーケティング本部
地域営業推進グループ

電話

03-5371-6911

メール

marketing@yano.co.jp